

放課後等デイサービス評価表
～ご利用者様回答～

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	ご意見
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	18	2		
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	18	2		専門的な分野を直接見る機会がないため、何とも言えません。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	14	6		
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>放課後等デイサービス計画*1</u> が作成されているか	20			
	5	<u>活動プログラム*2</u> が固定化しないよう工夫されているか	19	1		
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	10	5	<ul style="list-style-type: none"> ・とは言え無理に交流する機会を作らなくても良いと思います。今の活動だけで十分ありがたいので。 ・交流をする機会に参加したことがないので分かりませんが、現状で満足しております。 ・特に求めてないため現状に満足していません
保護者への説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	19	1		
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	19	1		
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	16	4		<ul style="list-style-type: none"> ・相談自体あまりしていないためそのような機会がありません。 ・事業所等の情報提供をしていただいたりして助かります。
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	10	6	<ul style="list-style-type: none"> ・無理に開催しなくても良いと思います。個人的につながっている方はいるので ・あまり求めて居ない為、現状に満足しています。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	16	4		<ul style="list-style-type: none"> ・苦情を言うようなことが起こらないので ・そのような機会がなく、答えられず…
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	19	1		
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	20			
	14	個人情報に十分注意しているか	17	3		
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	17	3		
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	14	6		

	17	子どもは通所を楽しみにしているか	20		・毎週楽しみにしています！
満足度	18	事業所の支援に満足しているか	20		<ul style="list-style-type: none"> ・とても満足しています。夏の敷地内川遊びを始め、季節の行事に合わせた工作、おやつ作り色々な公園に連れて行って頂いたり、園庭遊び、リハビリ室遊び、色々な経験をさせて下さって、本当に感謝しております！！ ・いつも素敵な写真を撮ってくださっているのもうれしいです。 ・送迎時、その日の小さなエピソードをスタッフの皆さんが教えて下さるのもありがたいです。 ・心理士さんの文章を読むと、本当に良く観察して下さっているのがわかります。他のデイにはこのような心理士さんはいらっしゃらないので有り難いです。 ・もし可能ならもう少しきれいだと嬉しいです。 ・とても満足しています。是非、中学生や高校生も通える放デイを作っていただきたいです。 ・職員の皆さんの質、施設の環境、保護者への配慮も含め、本当に素晴らしい事業所さんです。 ・職員の皆さんが本当に子どもを可愛がってくださっていることが伝わり、施設の環境も素晴らしく、活動内容も工夫されていて他にない事業所だと思います。 ・大満足です。これで小学生で終わりにならなかったら最高なのですが… ・小学生だけしか利用できないのがとても残念。中学生向け、高校生向けの部門があってほしいです。 ・いつも楽しく通えていてありがたいです。これからもよろしくお願いします。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6		1	園庭やリハビリ室など様々な活動場所で活動が来ている。
	2	職員の配置数は適切であるか	5	2		日によって足りないタイミングがあるが、他部署に応援をもらう、部長が支援に入る等の工夫で対応できている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	2	2	来ている部分もあるが改善が必要な部分もある。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6		1	職員一人一人が毎年改善目標を立て、振り返りを行っている。毎月の部署の会議で話し合っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	1		アンケート結果をスタッフで共有し改善に繋げている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	1		滝乃川学園ホームページに掲載している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	2		定期的に外部の第三者評価を受けて、評価結果を職員で共有し業務改善に繋げている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	1		知識や技術的な研修は行っているが人間的に成長を促す研修は行われていない。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	1		毎月支援計画に基づいた支援計画会議を行い、支援計画作成に繋げている。 心理士の助言、保護者の希望に沿った支援計画を作成している。 今後は本人の希望も取り入れている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6		1	「KIDS乳幼児スケール」をアセスメントツールとして活用し、心理士がスーパーバイズをしてくれる。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	1	1	毎週違った活動内容を決め、担当職員を中心に活動プログラムを実施している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	1		おやつ作り、工作遊び、読み聞かせ等週替わりで活動をしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	3	1	細やかな設定はない。大まかな毎日のスケジュールを決めている
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	2	1	全利用児に個別活動と集団活動を提供するように努めているが、できないこともある。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3	4		スケジュール確認は日常的にやり取りしている。 イレギュラーな状況や長期休み等は適宜打ち合わせ等をしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	3	1	必ずはしていないが日常的に打ち合わせができている。 業務日誌にヒヤリハットなどを記入し共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6		1	毎日、様子等の記録をし、それを基に半期のモニタリング作成をしている。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	1		毎月、全スタッフで支援計画に基づいた支援計画会議を行い、半年毎に児発管を中心にモニタリングを作成している
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	4	3		毎日複数の活動を組み合わせている。2便下校等で活動時間が少ない日は活動数を減らしている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	1		関係者会議には児発管や科長、担当スタッフ、心理士等が出席している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	7			学校の年間予定表を頂き、下校時間の確認をしている。担任教諭等との情報共有や連絡調整は適宜行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4	3		主治医との直接的な連絡はしていないが保護者を通して指示書等を貰っている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		5	2	保育所訪問や児童発達支援事業所の訪問は行っていないが必要に応じて連絡を取っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	2		間かれたら相談事業所を通してしている。知的部門は小学生までの利用のため、卒業後の事業所移行は行っていない。重症児部門では高等部まで利用のため連携を取るようにしている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	3		心理士による研修を実施している。会議があった際には参加している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	2	4	行っていない。地域の公園等で関わることはある。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	2	1	3	(回答なし)法人内の別部署スタッフが参加し、その後情報共有をしている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	1		連絡帳や、引き渡し時の会話、ラインなどの連絡ツールを使い共通理解を図っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	7			心理士によるペアレントトレーニングを実施している。
保護者への説明	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	2		契約時に説明し変更があった時や保護者からの質問があれば随時対応している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7			児発管、心理士を中心に相談に応じ、必要があれば相談事業所とも連絡を取っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	2	3	保護者会は行っていない。ペアレントトレーニングで保護者間の交流がある。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	1		苦情は速やかに上司に報告し、事業所内では対応策を講じている。苦情解決の窓口を法人内外に設け、契約時に保護者に周知している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7			毎月活動風景を載せたお便りを保護者に配布している。インスタグラムで活動の様子を公開している。

責任等	35	個人情報に十分注意しているか	7			法人の個人情報保護規定を守り、十分注意している。写真の取り扱いも同意を得た利用児のみにするなど個人情報に配慮している。利用者と情報提供同意書を交わしている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7			利用児と保護者の意思疎通や情報伝達を円滑にできることを目標として支援を行っている。意思疎通力や情報伝達力向上を目標としている利用児については家庭でもできるように保護者に説明している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	1	2	法人の行事に地域の方が参加している。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7			各マニュアルを作成し職員はいつでも見ることができるようにしている。保護者への周知はあまりできていない。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7			火事、地震、風害、水害等、様々な災害を想定した訓練を毎月行っている。伝言ダイヤル活用練習を年に複数回行っている。消防署の救命講習を職員全員が受けた。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7			虐待防止や権利擁護についての研修は全職員が複数回参加する体制を整えている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7			法人で身体拘束におけるガイドラインを作成している。身体拘束が必要な利用児には十分な説明を行い支援計画と同意書にて保護者からの同意を得ている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	1		アレルギーについては保護者の聞き取りのみで対応している。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7			日々ヒヤリハット事例を記録に残し、職員間で共有する場を毎月設け、法人に報告している。	